

進路部便り

宮城県岩出山高等学校 進路指導部
【2019—第1号】 2019.4.10

新入生諸君！ ようこそ岩出山高校へ！

これからいよいよ高校生活が始まります！最初の1年間は初めてのことで大変だと思いますが、ぜひとも心機一転、頑張ってください！また、**2・3年生諸君**、新しいクラスでの学校が始まりましたね！



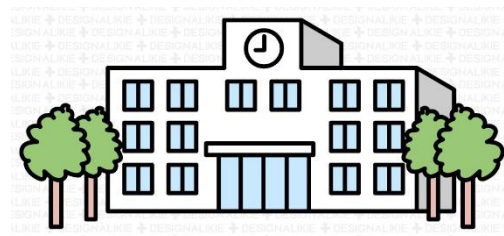
いよいよ4月になり、新年度がスタートとなりました。新2年生のみなさんは、これから部活・委員会などでもいよいよ中核を担う立場になっていきます。1年の時に足りなかった部分、頑張れなかった部分を今年こそ挑戦してみてください。また、来年にはみなさんも3年生になります。ぜひ、そこも意識して、先輩たちの後ろ姿をよく見てください。

新3年生のみなさんは、いよいよ卒業後の自分の将来を切り拓く大事な人生の岐路に立つこととなります。就職にしろ、進学にしろ、もう他人事ではありません。**自分の進路は他人から与えられるものではなく、自分の意思で選び、自分の力で切り拓くものです。**

さて、就職も進学も、どの企業もどの上級学校(短大・専門・大学)も、その入社・入学の最低条件が「高等学校を卒業した者」あるいは「高等学校を来年3月に卒業が見込まれる者」となっています。ということで、今年第1号の進路部便りでは、そもそも「学校って何であるの?」「勉強ってどうしてしなくちゃいけないの?」という根本的なところを考えてみたいと思います。

◆学校って、なんであるの？

みなさんは学校が楽しいですか？新入生のみなさんは、いかがですか？まだまだ、知らないクラスメイトが多くて、隣の人ともまだ会話してないって人もいるかもしれません。中学とは違って、知らない人が多くて知らず知らずのうちに気疲れしてて、家に帰ったらぐったり。。なんて人もいるかもしれません。



さて、「学校って、何のためにあるのか」考えたことはありますか？

一般的には「学校は勉強するところだ!!」と言われます。確かに、授業も大事ですが、ここで言う「勉強」というのは、教室で座って先生に教えてもらう勉強のことではありません。LHRであったり、文化祭や体育祭などの学校行事であったり、部活であったり、生徒会であったり、休み時間であったり。。

つまり、**学校生活そのものが人間関係を学ぶ場になっている**のです。

学校生活は決して自由なものではありません。みなさんは、基本的には自分の意志で岩出山高校に応募し、入学してきました。また、自分の意志で選択科目を選べます。

しかし、だれもあなたの隣の人を選ぶ自由はありません。だれも教科担当の先生を選べません。だれもクラスメイトを選べません。でも、そこに学校の大きな役割があります。

学校を卒業して就職すれば、みなさんは、どこかの会社にたった一人で入社し、知らない人たちと仲良くし、新しい仲間を作り、働かなければいけません。仲良くできなければ働くことが辛くなります。給料がもらえず、生活が苦しくなります。どんな環境であれ、知らない人と仲良くし、いっしょに協力して働くことができなければ、人は生活できないのです。。。



そして「社会の中で生きる力」をつけるのが、学校の大きな役割です。だからこそ、その訓練として、担任も教科の先生もクラスメイトも選べないのです。1年経つとクラス替えがなされ、また新しい出会いが生まれます。いろんな考え方の人や、いろんな性格の人が1つの教室でクラスメイトとして1年間生活していくこととなります。どんな人とも仲良く付き合うことができれば、それに越したことはありませんが、とても難しいことです。ただ、少なくとも、**お互いが快適に過ごせる距離感を学んでください。**自分の小さな物差しだけで人を評価せず、お互いを尊重し合い、認め合うことを学んでください。これができないと、おそらく卒業後、どの会社に就職してもうまくやっていけず、職を転々としていくことでしょう。

…春は出会いの季節です。小さな世界に閉じこもり、いつまでも小学校や中学校の友人とだけべったりしてないで、はじめて出会う隣の人に、まずは「おはよう」って挨拶してみてください。もしかすると、その人を通して、新しい自分の可能性が見つかるかもしれませんよ。

◆なんで勉強しなくちゃいけないの？



「英語なんか、どうせオレ、外国なんか行かねえし！必要ねえし！」

「なに？あの因数分解とか三角関数とか？意味わかんねえし！あんなの覚えても意味ねえし！」

「日本史？興味ねーし！今が大事っしょ☆」

。。。こんなぼやきをよく耳にします。数学の因数分解、英単語、歴史や理科の法則など、そこで覚えた知識そのものが、大人になって社会の中であまり活用される機会はないかもしれません。しかし、学校の勉強で一番大事なところは、そこで「覚えた知識」ではなくて、その知識を「どうやって覚えたのか」にあるのです。新しい物事をどうやって理解したのか、その過程が一番大事なのです。つまり、学習方法を勉強するために、勉強している、とも言えます。学校を卒業し、いつかはみんな就職しなければなりません、その職場で仕事の手順や作業内容など新しいことを覚えていかなければなりません。ここで大事になってくるのが「学校ではどうやって新しい知識を獲得していたか」ということです。学校では、様々な科目の授業を通して、様々な種類の知識を覚えたり、考える訓練をします。そして、このように学校の授業を通して**自分なりに獲得したその学習方法は、一生の宝(能力)となります。**

自分では何も考えずに、友人のノートを見たり、答えを写してばかりの人、いませんか？

自分で考え、覚えようと努力しなければ「一生の宝」は手に入りません。今はよくても、社会に出た時に苦勞するのはあなたです。第1回考査が6月の中旬にあります、そこに向けて、もう一度勉強の大切さを考え直してみましょう。

